

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-104325

(43) 公開日 平成8年(1996)4月23日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>  
B 65 D 17/32

識別記号 庁内整理番号  
0330-3E

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全3頁)

(21) 出願番号 特願平6-278225

(22) 出願日 平成6年(1994)10月5日

(71) 出願人 594186647

千田 克彦

神奈川県茅ヶ崎市鶴ヶ台15-3-202

(72) 発明者 千田 克彦

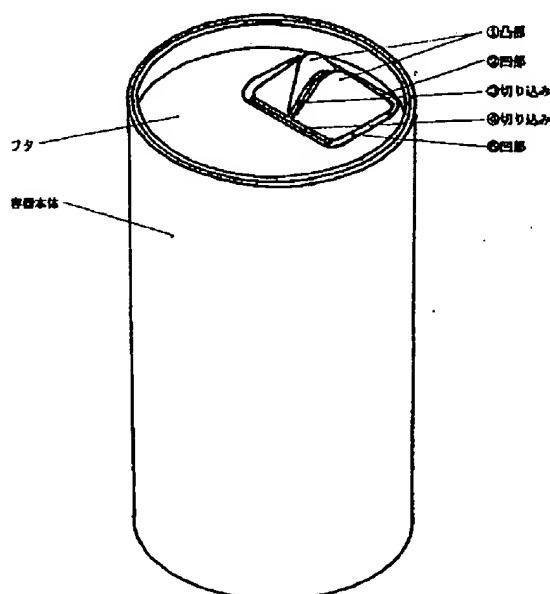
神奈川県茅ヶ崎市鶴ヶ台15-3-202

(54) 【発明の名称】 指先で穴を開けられるフタ付きの容器

(57) 【要約】

【目的】 密閉した容器から、内容物を取り出すための穴を、指先で開けられるよう、フタの材料に加工を施し、経済的で、かつゴミとなる部品を使わない容器の提供。

【構成】 容器のフタに、所定の凹凸と切り込みを作り、他に部品を用いないことを特徴とする。



1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 容器のフタに適切な凹凸①のと、切り込み③④を設け、フタと容器本体を何らかの方法により固定させ、内容物が容易に漏れ出ないように出来、かつ内容物を取り出す時は、指先で凹凸部を押すことにより穴を開けられる容器。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、フタに穴を開けるための凹凸と切り込みを設けた容器に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来、指先で穴を開けるために、引き起こし金具を付けた容器があった。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】これらは、引き起こし金具を別に作成し、かつ、フタとなる部品にあらかじめ止め金具で固定しておく必要があった。つまり、フタとなる部品以外に、2個の部品が必要で、かつ、取り付けるための工程も必要であった。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】フタとなる部品に、2山状の凸部①を設け、山と山の間の谷部に切り込み③を設ける。つぎに、切り込み③の端に接しほぼ直角方向に谷状の凹部②を設けるこの凹部②の底にも切り込み④を設ける。これらの、切り込み③と、切り込み④は連絡して設ける。以上のように、第2、第3の部品を用いずに、フタとなる部品のみで構成される。

## 【0005】

【作用】容器を強固な台の上にフタを上にして置き、両手の親指をつきあわせてフタの凸部①にあてがい、上 30

2

から容器内側に押し込む。凸部が押し込まれる際に、山と山の間の谷部と凹部②の角度が、一たん小さくなり、続いて大きくなる。このため、切り込み③④でフタが破断し、内容物のとりだせる穴が開く。

## 【0006】

【実施例】以下、本案の実施例について説明する。

(イ) 容器のフタに、2山状の凸部①を設け、山と山の間の谷部に、切り込み③を設ける。

10 (ロ) 切り込み③の端部に、凹部②と切り込み④を設ける。

(ハ) 内側へ折れ曲がる位置を限定するために、凹部⑤を設ける。

## 【0007】

【発明の効用】フタを作る材料のみで構成するため、容器を製造する際に、引き起こし金具等第2、第3の部品が不要となる。また、それらの部品を取り付ける工程も不要となるため、より経済的に容器の製造が可能となる。また、外れた引き起こし金具等が捨てられた場合の、環境に与える悪影響も防止できる。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の斜視図である。

【図2】 本発明の平面図である。

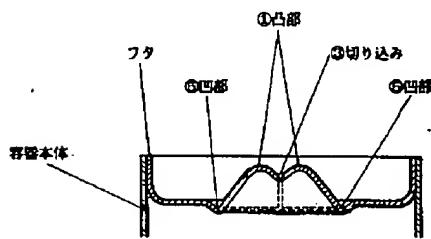
【図3】 本発明の断面図である A-A' 矢視。

【図4】 本発明の断面図である B-B' 矢視。

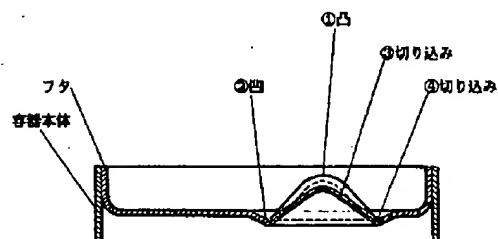
## 【符号の説明】

① 凸部	② 凹部	③
切り込み		
④ 切り込み	⑤ 凹部	

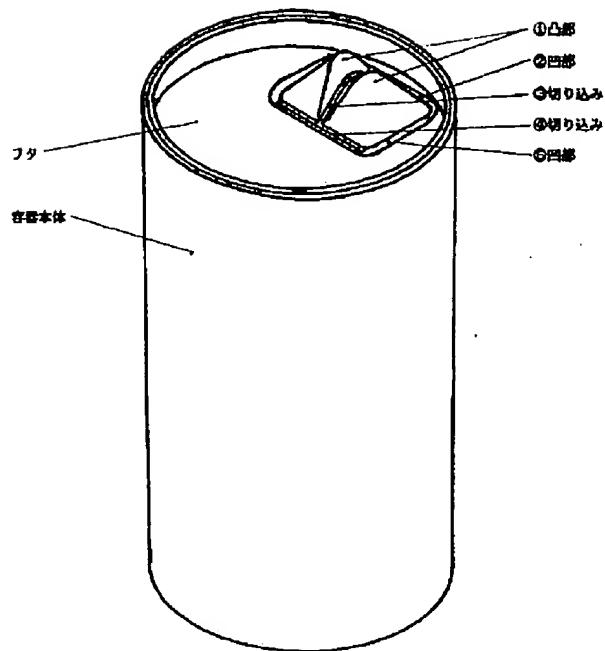
【図面3】



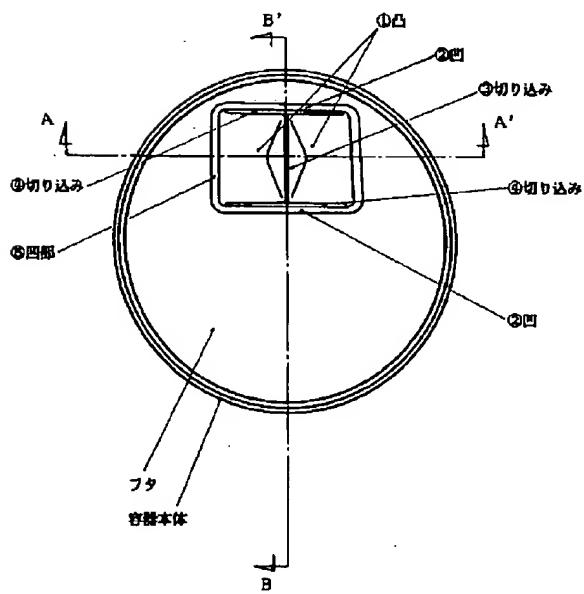
【図面4】



【図面1】



【図面2】



DERWENT-ACC-NO: 1996-254805

DERWENT-WEEK: 199626

COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Finger punctured pull-tab container  
- has uneven portion pushed by tip of finger when taking  
out contents

PATENT-ASSIGNEE: SENDA K[SENDI]

PRIORITY-DATA: 1994JP-0278225 (October 5, 1994)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PAGES	PUB-DATE	MAIN-IPC	
LANGUAGE				
JP 08104325 A	003	April 23, 1996	B65D 017/32	N/A

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE		
JP 08104325A	N/A	
1994JP-0278225	October 5, 1994	

INT-CL (IPC): B65D017/32

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 08104325A

BASIC-ABSTRACT:

The container is constructed with a pull-tab that is formed with an uneven portion. An incision is made on the pull-tab and is clung through some method.

ADVANTAGE - Eliminates usage of metal fittings when mfg. container and provide easy manner of pouring content through finger punching.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/4

TITLE-TERMS: FINGER PUNCTURE PULL TAB CONTAINER UNEVEN

PORTION PUSH TIP FINGER  
CONTENT

DERWENT-CLASS: Q32

SECONDARY-ACC-NO:  
Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1996-214189